

会議記録

| | | | | | |
|----------|---|----|---|-----|---|
| 会議名 | 令和4年度(2022年度)第3回八王子市博物館協議会 | | | | |
| 開催日時 | 令和5年(2023年)1月31日(火)午後6時00分~午後8時00分 | | | | |
| 開催場所 | コニカミノルタサイエンスドーム(八王子市こども科学館)2階・講座室 | | | | |
| 出席者 | <table border="1"> <tr> <td>委員</td> <td>大畑静佳、大森映子、長田晶、鎌倉佐保、菊池由紀子、國方則和、進藤哲央、馬場憲一、深澤靖幸、山中将一(敬称略・50音順)</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>飯塚由則こども科学館長、鈴木正生文化財課課長補佐兼主査、高野淳文化財課課長補佐兼主査、北野領こども科学館課長補佐兼主査、尾崎光二文化財課主任、森融こども科学館主任</td> </tr> </table> | 委員 | 大畑静佳、大森映子、長田晶、鎌倉佐保、菊池由紀子、國方則和、進藤哲央、馬場憲一、深澤靖幸、山中将一(敬称略・50音順) | 事務局 | 飯塚由則こども科学館長、鈴木正生文化財課課長補佐兼主査、高野淳文化財課課長補佐兼主査、北野領こども科学館課長補佐兼主査、尾崎光二文化財課主任、森融こども科学館主任 |
| 委員 | 大畑静佳、大森映子、長田晶、鎌倉佐保、菊池由紀子、國方則和、進藤哲央、馬場憲一、深澤靖幸、山中将一(敬称略・50音順) | | | | |
| 事務局 | 飯塚由則こども科学館長、鈴木正生文化財課課長補佐兼主査、高野淳文化財課課長補佐兼主査、北野領こども科学館課長補佐兼主査、尾崎光二文化財課主任、森融こども科学館主任 | | | | |
| 欠席者 | (委員)なし (事務局)叶清文化財課長 | | | | |
| 議題 | (1) 令和4年度(2022年度)こども科学館及び郷土資料館事業(4~12月期)実施状況について (2)その他 | | | | |
| 公開・非公開の別 | 公開 | | | | |
| 傍聴人の数 | 0名 | | | | |
| 配付資料等 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 会議次第 2. 【資料1】令和4年度(2022年度)こども科学館事業(4~12月期)実施状況 3. 【資料2】令和4年度(2022年度)郷土資料館事業(4~12月期)実施状況 4. 【資料3】令和3年度施設評価(こども科学館) 5. 【資料4】令和3年度施設評価(郷土資料館) 6. 【資料5】令和3年度(2021年度)はちやく学校見学実績表 7. 【資料6】令和4年度(2022年度)市民満足度調査報告書 8. 【資料7】2/18海洋研究開発機構(JAMSTEC)共催講座について 9. 【資料8】3月「自然災害を学ぶ!」企画事業について | | | | |

| | |
|-------------------------|--|
| <p>会議の内容 (要点記録)</p> | <p>【開会】(事務局職員による開会の宣言)</p> <p>事務局 本日はまず、こども科学館館内の見学となります。委員の皆様は、事務局の指示に従って移動をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">- 館内見学 -</p> <p>事務局 お疲れ様でした。再開します。会議の議長は、八王子市博物館協会条例第5条第1項の規定により会長と定められておりますので、鎌倉会長をお願いします。</p> <p>鎌倉会長 本日の会議には、10名の委員全員が出席されておりますので、八王子市博物館協議会条例第5条第2項の規定に基づき会議は成立しています。</p> <p>【議題】</p> <p>1. 令和4年度(2022年度)こども科学館及び郷土資料館事業(4～12月期)実施状況について</p> <p>鎌倉会長 まず議題(1)について、事務局から説明願います。</p> <p style="text-align: center;">事務局職員による説明</p> <p>鎌倉会長 説明が終わりました。確認したい点、御質問等はいかがでしょうか。</p> <p>馬場委員 こども科学館では科学指導員という職員もいて、様々な事業を行っているが、どのような職員が企画して館内で合意形成がなされていくのですか。</p> <p>事務局 運営担当の職員2名と、科学指導員3名とで企画を考えて実施しています。ただ、この2年ほどはコロナ禍でほとんど事業ができませんでした。</p> <p>鎌倉会長 新しい企画もたくさんされているので、なかなか人力的には大変なのではないかなと思います。関連することでも、それ以外のことでいかがですか。</p> <p>國方副会長 今回、報告の中でもありましたが、この人数は延べ人数で、「宇宙の学校」は、スクーリングという形で家族の方が計4回続けて参加するという前提ですね。そうすると、この人数は、例えば10人が4回参加したら40人というカウントになる。これは間違いないですね。それと、以前はボランティアの方も人数に含まれていたという話でしたが、今回はどうなのでしょう。</p> <p>事務局 今回の報告にも含んでいます。</p> |
|-------------------------|--|

| | |
|-------|--|
| | <p>國方副会長 多分、この人数だけを見ると、こんなに参加してくれた人がいるんだ、となるが、その内容までは読み取れない。普通の博物館と違って民間の人たちと一緒に作り上げている部分なので、それが分かるような表現がよろしいのではないかということをお話したこともあり、工夫したほうがいいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>確かに「宇宙の学校」は40組です。実際その表の人数は延べ人数ですので、表現を検討し、次回以降改善させていただきます。</p> |
| 國方副会長 | <p>数字を読む人に正しく伝わるようにしたほうがいいのではないかな、という意見でした。よろしく願います。</p> |
| 鎌倉会長 | <p>是非対応をお願いします。他にはいかがですか。</p> |
| 馬場委員 | <p>私も「宇宙の学校」を非常に興味深く見えています。親子の絆とか、家族で楽しむという、非常にいい事業だと思うのですが、今、様々な家族形態があるなかで、仮にシングルマザーのご家庭のような方、例えば母親がすごく忙しくて参加できないご家庭もあるのではないかと。母親だけではなくて、父親しかいないご家庭もあるだろうから、そういう方々にはどのように対応されているのですか。</p> |
| 事務局 | <p>基本的には親子で参加をしていただくのですが、親子で参加できないという場合、例えばおじいちゃんやおばあちゃんが連れてきても、拒否するということはしません。</p> |
| 事務局 | <p>募集の段階では、保護者と一緒に募集するのですが、実際に相談もあります。親と一緒にいけないので、お兄ちゃん、お姉ちゃんでもいいかと。そのような問い合わせがあった場合は、運用面での対応でオーケーしております。</p> |
| 馬場委員 | <p>募集時点では、絶対親子でないといけないという訳ではないのでしょうか。家族であればよいとか。</p> |
| 事務局 | <p>基本は親子ですが、例えば祖母や祖父と来るということであっても、それを否定するものではなく、いろいろな方に参加していただきたいという考えです。今年度は人数を少なくしたのですが、コロナ前は200組で実施していましたので、来年度はもう少し多くの参加者を募集できるよう、今、調整しているところです。</p> |
| 鎌倉会長 | <p>この点は、やはり今、いろんな家族の形態がありますので、ぜひ柔軟な対応をしていただきたい。親子と言ってしまうと困る方もいるかと思しますので、ぜひともお願いしたいと思います。ほかにはいかがでしょうか。</p> |
| 進藤委員 | <p>こども科学館という名前が示しているとおり、メインターゲットは小学生、どちらかというと低学年という感じだ</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>と思いますが、先ほど新たな客層開拓も目指すという話もありましたが、中高生に向けて、例えば中学、高校の科学クラブの活動受け入れなどは需要としてあるのではないかと思うのですが、いかがですか。</p> <p>事務局 メインは小学生ですが、宇宙のコーナーは小学生でも比較的高学年の方に興味を持っていただいています。今後、子どもから大人まで、あらゆる世代の方に楽しんでいただける企画を進めたいと考えていますが、確かに高校生や大学生ということになると、現状、ターゲットとして来ていただく要素は少ないように感じています。ただ、「宇宙の学校」では、ボランティアとして中学生、高校生、大学生にも参加していただいていますので、そういった意味で学校との連携を進めていますが、今後、あらゆる世代を対象とした企画について、知恵を絞って実施していきたいと考えています。</p> <p>長田委員 コロナ規定が3月13日から変わりますが、今体験を中止している展示物が多い中、それを単純に4月から再開してよいかというと、なかなか難しい判断が求められると思います。ただ、今中止という紙を貼ってあるのも寂しいなという気持ちもします。飛沫などもまだ気になりますので、市販のプザーやベル等で音を声の代わりに出して体験するとか、何かしらの工夫をしていただけたらと思いました。あと、今中止されているカプラの体験も、消毒などで工夫しながら、復活に向けて前向きに検討していただけたらと思いました。</p> <p>事務局 今はまだコロナ禍ではありますけれども、今後、社会経済活動と両立していくウィズコロナの時代に入っていきます。今はプラネタリウムの定員を制限したり、また、本来はこの会場も食事ができる場所なのですが、やはりマスクを外して食べて、子どもたちが大声を出して叫んでという懸念もあって、飲食は中止しています。</p> <p>ただ、感染者数も減っていて、5月には2類から5類に移行という報道もありますが、それより前の段階で、徐々に制限も緩和していきたくと考えています。特に、この会場、昼食を食べられる場所というのは要望が強く、午前中から来て、ここで家族で御飯を食べて、また午後も遊んで帰るという、そういう要望が多い現状もありますので、この点は前向きに検討していきたくと考えております。</p> <p>鎌倉会長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p> <p>大森委員 資料6、市民満足度調査というものがありますが、その</p> |
|--|--|

| | |
|--|---|
| | <p>中にも、今のお話にあった食事に関することもあると思うのですが、このアンケート結果をどのようにお感じになったか。特にこういう示唆的なところがあつたとか、意外だったとお感じになったことがありましたら、教えていただきたいのですが。</p> <p>事務局 その点に関しましては、この後の議題（２）その他で詳しいご説明をしてからのほうがいいのかなど。そこでご回答いたします。</p> <p>2.その他</p> <p>鎌倉会長 議題（２）その他について、事務局からお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和３年度施設評価（こども科学館）について ・令和３年度施設評価（郷土資料館）について ・令和３年度（2021年度）はちはく学校見学実績表について <p style="text-align: center;">事務局職員による説明</p> <p>鎌倉会長 確認したい点や御質問はございますでしょうか。</p> <p>大畑委員 資料４の郷土資料館施設評価、５の財源の確保について、グッズの販売が好評だったとありますが、こういったグッズが人気だったのですか。</p> <p>事務局 主には御城印というもので、八王子城と滝山城の二種類あるのですが、大変売れています。そのほかにも缶バッジや、先ほどもありました拓殖大学で考案してもらった折り兜というものもありまして、いずれも満遍なく売れています。</p> <p>鎌倉会長 やはり場所もいいので手に取ってくれたのですかね。今までとまた違ってきたような感じがします。ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>馬場委員 関連して、こども科学館の入館料についてです。博物館法上では公立博物館は入館料は取ってはならないという規定になっており、例外として館の維持運営のために取れることになっています。今、国会で様々少子化対策が議論されているように、次代を担う創造性豊かな子どもの育成に寄与する、という観点から運営するのであれば、入館料を取らないという選択もあるのではないかと。こどもと名乗っている科学館は、そう多くはないと思うので、先進的な事例ということも考えていただきたいと思います。条例改正など、なかなか難しい問題だと思うのですが、少子化</p> |
|--|---|

| | |
|-------|--|
| | <p>対策という点にも留意して検討していただきたい、という意見です。</p> |
| 事務局 | <p>入館料を取ることにした経緯の詳細は不明ですが、やはり受益者負担という考え方もあると思います。</p> |
| 馬場委員 | <p>こども科学館は1980年代にでき、郷土資料館は1960年代で入館料は全く取っていないじゃないですか。特にこどもと言っているのだから、考えていただけないかなと思いました。</p> |
| 鎌倉会長 | <p>これは難しい問題ですが大事なことだと思います。今後の検討課題ということでしょうか。他にはどうですか。</p> |
| 進藤委員 | <p>資料3の一番下にNPOとの連携とありますが、現在の連携先は、NPO法人子ども・宇宙・未来の会、一つだけなのですか。</p> |
| 事務局 | <p>「宇宙の学校」では、他に東京八王子プロバスクラブという団体と、KU-MAという団体と連携しております。</p> |
| 進藤委員 | <p>今後さらに連携相手を増やす予定はあるのですか。</p> |
| 事務局 | <p>今年度は八王子学園と教育センターの2施設で実施しましたが、今、東京高専でもお願いできないかとお声掛けをしています。まだ正式な回答はありませんが、開催施設として、高校や大学、民間との連携を積極的に進めたいと考えています。</p> |
| 進藤委員 | <p>若干手前みそなんですけど、八王子の科学コンクールの審査員をやっているNPO法人、SSISSという団体もあるので、そちらへの開拓というのでもいいのではないかなと思いました。</p> |
| 事務局 | <p>そのコンクールの入賞者の方が、こども科学館に無料で入館できる優待券もお渡ししているので、関係がありません。連携先として考慮していきたいと考えます。</p> |
| 國方副会長 | <p>科学コンクールは、正確に言うと、市の教育委員会だけが主催ではなくて、八王子市立中学校PTA連合会などと一緒にやっているものです。私はその会のメンバーでもあって、この間も行っていました。そうした団体も関係があるということは、皆さん知っておいてください。</p> |
| 菊池委員 | <p>先ほどグッズの件や、拓殖大学との協力というお話があったのですが、学生たちが出したアイデアが、今後、商品化やPRなどに使われるのでしょうか。その目的、最終的な成果としては、どんなことを考えておられるのですか。</p> |
| 事務局 | <p>学生側からは、10グループほどから提案をいただき、グッズとしてかなり魅力的なものもありました。先月中旬頃、その提案に対しコメントを入れてお返ししたところで、</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>今後内部でグッズ化を検討し、大学側とお話ししながら1個でも実現できたらと考えております。そういったことが学生のみなさんの励みにもなると思います。</p> <p>菊池委員 今、全国的に高校生が地域おこしみたいで、いろいろなデザインを上げて、それが商品化されている事例があり、それがパワーになって、さらに勉強しようとか、もっと自分の地元のことをリサーチして、それを商品に上げていこうという、成功例が各地にあることを知っています。以前も、昔のそごうで多摩美術大学の学生作品を発表して、成果物を展示していたのを見たこともあり、そういうことが子どもたちにいい影響があるのではないかと思います。</p> <p>鎌倉会長 それでは、まだ別の報告があるのでしょうか。次の御説明はございますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度(2022年度)市民満足度調査報告書について ・2/18 海洋研究開発機構(JAMSTEC)共催講座について ・3月「自然災害を学ぶ!」企画事業について <p style="text-align: center;">事務局職員による説明</p> <p>鎌倉会長 確認したい点はございますでしょうか。</p> <p>事務局 追加で一点、資料がなく申し訳ないのですが、プラネタリウムの新番組で、キトラ古墳壁画関連のものが3月から始まります、というご案内です。</p> <p>事務局 当番組は、文化庁と奈良文化財研究所の協力を得て、日本プラネタリウム協議会という団体がつくりました。この協議会は全国組織で、当館や府中市も加入している団体です。そこからこの番組の無償配付を受け、奈良にあるキトラ古墳内の天井に描かれている中国の古代星座などが、ドームスクリーン全体に映り、石室内へ入るといった疑似体験ができるということです。私も楽しみにしております。大人の方にも大勢来てほしいと思っております。</p> <p>鎌倉会長 御質問等はございますでしょうか。</p> <p>長田委員 生涯学習センターでは、新年度チラシの配布を止めてインターネットやホームページ上の公開にしたなら、申込み数がすごく減ったという情報がございました。こども科学館のチラシの情報量はとても多く、それをホームページで全て得るのは大変難しいので、エコの問題もあり判断が難しいと思うのですが、ぜひ小学校にはチラシ配布を続けていただきたいと思います。</p> |
|--|---|

| | |
|------|---|
| | <p>あと、コロナも落ち着いてきまして、団体の申込は増えてきましたか。こども科学館は、保育園や幼稚園の見学が多かったと思うのですが、そちらからの問合せは増えてきましたでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>増えております。台帳で管理して、空き状況を見ながら予定を入れるのですが、いついつやりたいという電話が毎日のようにかかってきて、人数も調整しながら、ほかの団体とバッティングしないような調整を、日々やっている状況です。</p> |
| 長田委員 | <p>でも、まだコロナ前ほどには戻っていない状況ですか。</p> |
| 事務局 | <p>前ほどではないです。以前は、小学4年生は市内全校来ていたのですが、まだ全校には戻っておりません。幼稚園、保育園は、申込みが去年に比べると大分増えましたので、来年度はさらに増えると思います。</p> |
| 進藤委員 | <p>市民満足度調査について確認ですが、男女比が1対2ぐらいですが、10代に限った場合の男女比は、半々ぐらいですか。</p> |
| 事務局 | <p>本来であれば、全体のクロス集計などをやらなくてはいけないなと感じているところなのですが、肌感的には半々ぐらいかと思います。男の子も女の子も、どちらかがすごく多いという感じではないです。特に、1階のスペースで遊ぶという中では、女の子もすごく活発に楽しんでいるようです。</p> |
| 進藤委員 | <p>あと1点、これは将来に向けた御提案ですが、自治体内での協力関係ということで、市の環境フェスティバルと何か協力するという方向はあり得るかなと思いました。</p> |
| 事務局 | <p>実は、あったかホールのNPO法人の代表の方と、もう既に話をしていまして、何か一緒にコラボできることはないかということで、今、話を進めているところです。</p> |
| 進藤委員 | <p>楽しみにしています。</p> |
| 鎌倉会長 | <p>では、ほかに事務局から何かございますでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>八王子駅南口の集いの拠点の関係でご報告いたします。まず一つが、集いの拠点の運営事業者について、去年6月に公募資料を公表し、競争的対話や11月にはプロポーザルも行い、12月に優先交渉権者として、代表企業が大和リースグループに決定し、今後詳細を詰めて、今年3月には本契約という状況になっております。</p> <p>続いて2点目は、集いの拠点内にヒノキづくりの組立舞台を設置するのですが、その舞台は、日本財団が立ち上げた「にっぽん文楽プロジェクト」という団体から譲り受け</p> |

るもので、既に昨年協定を結んで舞台自体はもらっているのですが、1月17日、日本財団にて譲り受けを記念する目録の贈呈式を行いました。

我々も、その舞台で日本の伝統芸能をやったり、車人形、説経節、木遣などの八王子の民俗芸能の披露に使わせていただいたり、一般の舞台とは違い日常的な場所ではないところでコーラスの発表会や演劇をしたり、そういうことに使っていただいてもいいのかなと思っています。具体的にはこれから事業者と相談しながら進めていきますが、まずは、こういった舞台を譲り受けましたということをご報告させていただきます。

鎌倉会長 ありがとうございます。確認したい点などはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

発言者なし

鎌倉会長 それでは、事務局から次回の会議について、御説明お願いいたします。

事務局 今回は、年度初めの5月中旬頃、令和5年度第1回協議会を開催したいと思います。そこでは、令和4年度の1年間の実績報告と施設評価についてご説明し、委員の皆様から意見をいただきたいと思っております。日程調整は改めてご連絡いたしますので、よろしく願いいたします。

鎌倉会長 以上で、令和4年度第3回八王子市博物館協議会を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

閉会

